メタリストを応援するネットワーク情報誌

Sheet Metal シートメタル 九州 KYUSHU

2019 夏号
第54号

CONTENTS

特　集
九州シートメタル工業会新役員紹介 … 2
工業会からのお知らせ
第 31 回アマダ優秀板金製品
技能フェア表彰式 …… 6
第 18 回 九州シートメタル工業会
親睦ゴルフコンペ報告 …… 7
第 22 回 定期総会報告 …… 9
板金技能検定合格おめでとうございます！ … 10
今後の予定／編集後記 …… 14

特集　九州シートメタル工業会　新役員紹介

平成 31 年 4 月 18 日（木）にオリエンタルホテル福岡 博多ステーションに於いて開催された第 22 回定期総会（定期総会の模様は「工業会からのお知らせ」ページに掲載）にて新役員が選任されました。本号では、新役員より会長および副会長、ならびに部会長の挨拶と、新幹事の方々をご紹介いたします。

会　長　安　岡　貞　勝

株式会社三松　取締役会長

会員企業の皆様、日頃より当工業会の活動にご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年 2018 年（平成 30 年）に発足 20 周年を迎え、記念行事も無事に終えることができましたことは、ひとえに会員企業皆様と関係各位のご協力があって出来たことであり、改めまして深く感謝申し上げます。

記念行事が終わり、役員の方達からこれを機会に、人心を一新し、次世代へ繋げていこうとの声が上がり、今回の役員改選になった次第でございます。

2019 年（平成 31 年）４月の第 22 回定期総会に於いて、会長に就任させて頂きました安岡でございます。

会長就任に当たり、当工業会の「設立趣意書」を読み返しておりました。

バブル経済の絶頂と崩壊、ソ連の瓦解、ＥＣ市場の統合、阪神淡路大震災、消費税５％へと続き、少子化による若年者の減少、高齢化社会、情報化社会への加速、ソフトを含む技術革新および複雑・多様化への対応等々の課題が山積する中、1998 年（平成 10 年）に工業会が発足する運びとなりました。

「板金加工業界を統一する組織をつくり、技術情報・経営情報の交流、加工技術研究、経営研究、技能教育、人材育成などを積極的に推進して、新たな時代を迎えるにふさわしい体制を整えていこう」と趣意書に謳われております。

発足以降も、アメリカ同時多発テロ、リーマンショック、東日本大震災、消費税８％へそして 10％へ、米中貿易戦争、東京オリンピック・パラリンピック以降の状況や、５Ｇ、ＩＯＴやＡＩに代表されるようにスピードと複雑さが混在し、明確に先を見通せない時代が続くことと覚悟しなければなりません。

会員企業様に於かれましては、各社様の企業努力は基本ではありますが、当工業会の種々の活動がタテ軸とヨコ軸になり、強固に織り上がりどんな環境変化にも負けない企業群となっていければと思っております。

初代田名部、二代目高橋、三代目長澤、四代目田名部会長へと代々受け継がれてきました工業会は、いまでは全国の工業会に於いて、当工業会活動は一目置かれる存在になっております。

これからも、各部会の活動と企画推進委員会の活動とを更に活性化し、会員企業の皆様と協力しながら、九州地区への仕事の取り込みが出来るような環境を、もっともっと拡大していきたいと思っておりますので、諸先輩の皆様と変わらぬご協力を宜しくお願い申し上げます。

今後も会員企業様のご要望やご意見をお聞きしながら、より良い工業会へ繋げていきます。

次世代の方達が、2028 年（令和 10 年）の 30 周年へ向けて、より一層の努力と、より一層飛躍されることを祈りつつ、挨拶にかえさせていただきます。

副会長　田　原　和　幸

シンエイメタルテック株式会社　代表取締役

この度、九州シートメタル工業会の第 22 回定期総会において副会長に指名ご承認いただきましたシンエイメタルテック株式会社の田原和幸と申します。

当工業会の歴史を顧みますとその責任の重さを改めて感じているところでございます。

また、今年は元号が改まるという日本の歴史の上でも節目の年であり、このような記念すべき年に当工業会の副会長という大役を任されることとなったことは大変光栄なことであると同時に身の引き締まる思いでございます。新しい時代、新たな未来に向かって当工業会と共に会員の皆様の会社の発展と飛躍のために私に与えられた職責を全うすべく頑張っていきたいと思います。

今、我々ものづくり業界が置かれている経営環境は、グローバル経済、通商環境の変化、資源エネルギー問題、人口問題等々と様々な課題が存在します。それらの問題を会員皆様の共通の課題として考え良い方向へもっていければと思います。そのためにも会員皆様の当工業会の取り組みに対するご理解をいただくとともに、ご協力、ご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念しまして副会長就任の挨拶とさせていただきます。

副会長　安　永　　修

株式会社ヤスナガ　代表取締役

九州シートメタル工業会副会長の大役を仰せつかり、改めて 2008 年設立時の趣意書を読み返してみましたところ、「福岡県一帯の板金加工業を統一する組織を作り、技術情報、経営情報、経営研究、技能教育、人材育成などを積極的に推進して、新たな時代を迎えるにふさわしい体制を整えていこう」と記されています。確かに設立以前は九州内の同業他社の動向や全国の板金加工業界の動きや技術レベル等の情報に乏しかったことを思い出しました。

長野や大阪、京都の同業者を見学させてもらい技術の高さに驚いたこともありました。

それから10周年時に福岡県から九州・沖縄全体に拡大し、昨年20周年を迎え、工業会が歴史を重ねていくにつれ、技術研修が充実し、交流も拡大してきました。今では九州の技術レベルとチームワークは国内トップクラスと言っても過言ではないと確信しています。

個人的にもかけがえのない仲間が出来て喜んでいますし、勉強させていただいています。このような工業会を作っていただいた先人たちに感謝し、会員企業の皆様に役に立つことをいつも考え、微力ではございますが努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

総務部会長　鶴　元　清一郎

株式会社鶴元製作所　代表取締役

新役員就任原稿を依頼されるにあたり、古い当時の資料を引っ張り出してみました。

第一回設立発起人会は平成9年10月に開催され、以降、平成10年2月の設立総会まで幾度となく集まり、会則づくり、総会の準備等を行なった各雛形検討資料が残っていました。

あれから21年、設立趣意書にもある、情報・研究・教育・育成の推進は着々と実を結びつつあるように思います。初代の光安部会長、入江部会長、前任の原田部会長のもと総務部会一筋務めさせて頂きました。新任に当たり温故知新の精神を大切に工業会発展の一助になれば幸いです。今後とも会員皆様のご協力、心よりお願い申し上げます。

経営部会長　黒　木　保　善

株式会社昭和　代表取締役

今回、経営部会長という大役を仰せつかりました。経営部会では、記念講演会、工場視察を主に企画運営を実施させていただいております。記念講演会は、総会のメイン行事として、総会の華として、その役割を果たすべく、その年の時流にあった人を招聘する。工場視察では、会員のレベルにあった企業を探すことはもちろん、いろんな切り口で良い企業を見つけて行く。この二つの大きな事業は至難の業ではありますが、経営部会は新規部会員が3名、若手に代わったので、大きな戦力となりました。4名で話し合いを密にし、会員様に喜ばれる事業を企画運営したいと考えております。

さて、私は工業会に入り、社員さんの勉強の機会を得ることができ、さらに多くの情報や友人を得る事ができました。工業会は、同じ企業が切磋琢磨しながら楽しく交流も出来る稀有な会と思っています。この出会いを大事にさらに会員企業が増える会にすべく頑張って行きますので、よろしくお願い致します。

生産部会長　早　川　和　壽

有限会社早川プレテック　代表取締役

皆様、こんにちは。有限会社早川プレテックの早川と申します。

今年度より、生産部会の部会長を命ぜられ、責任が重くなったと自負しています。

新元号も“令和”になり新たな気分で希まれている日本ではありますが、我々製造業に於いては、益々厳しい環境に置かれてる事は否めないのが現状です。

その様な中、生産部会として、皆様方にお役に立てる様に企画推進委員会と連携を取りながら、新たな取り組みをご提案出来る様に努力してまいります。

今後とも宜しくお願い致します。

総務部会・経営部会・生産部会新幹事のご紹介

総務部会幹事
出口　雄一郎
出口工業㈱
代表取締役

経営部会幹事
田名部　淳
㈱田名部製作所
代表取締役

経営部会幹事
大和　啓介
三和金属㈱
代表取締役

経営部会幹事
内田　淳
親和工業㈱
取締役製造部長

生産部会幹事
田名部　徹朗
㈱三松
代表取締役

会　計
白水　靖久
㈱新栄製作所
代表取締役

監　査
稲冨　靖彦
㈱稲富プレス工業所
代表取締役

〈工業会事務局〉

第 31 回アマダ優秀板金製品技能フェア表彰式

3 月 9 日（土）アマダ　フォーラム 246（神奈川県伊勢原市）にて、第 31 回アマダ優秀板金製品技能フェア表彰式が行われました。応募総数 263 点　（学生 32　海外 104 含む）という高いレベルの激戦の中、今回も九州シートメタル工業会メンバーの中から、

厚生労働大臣賞　「保育園用デザインシンク」　株式会社ナダヨシ

組立品の部　グランプリ　「SAKURA　TUBE」株式会社田名部製作所

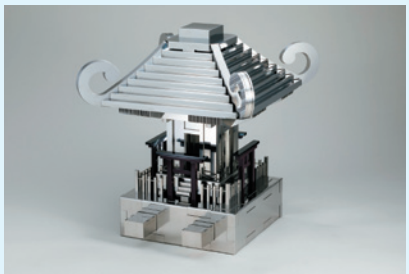
審査委員会特別賞　組立品の部「御神輿」ナサ工業株式会社

造形品の部　技能賞　「チャンピオンボール」株式会社ナダヨシ　が受賞しました。

工業会以外でも　㈲長崎軽金属　技能賞×２　㈱筑中工業所　技能賞　と、九州勢がんばっておりました。

厚生労働大臣賞
保育園用デザインシンク
ナダヨシ

組立品の部　グランプリ
SAKURA TUBE
田名部製作所



審査委員会特別賞
御神輿
ナサ工業

造形品の部　技能賞
チャンピオンボール
ナダヨシ

表彰式会場

受賞の喜び発表

表彰式、交流会、その後の食事会、２次会（居酒屋）、３次会（部屋飲み）と技術話を中心に深夜まで九州工業会メンバー、他工業会メンバーと交流を深めました。

継続は力なりを実感しております。大変得るものの多いフェアです。来年は最初の一歩を踏み出してみませんか。わからないことがあれば工業会でサポート致しますので、奮ってご参加ください。

表彰の様子

交流会の様子

大盛況 !!

〈植木 剛彦　㈱ナダヨシ〉

第18回 九州シートメタル工業会 親睦ゴルフコンペ報告

平成31年3月26日、佐賀県三養基郡みやき町の『佐賀カントリー倶楽部』に於いて、【第18回　九州シートメタル工業会　会員親睦ゴルフコンペ】が開催されました。

前夜の冷たい小雨から一転、当日は朝から好天に恵まれ、あたたかなゴルフ日和でした。近年入会された会員企業様からのご参加も増え、さらに前回から少し間も開いたこともあって今回を楽しみにされていた方も多かったからか、ここ最近では最高の参加人数で、会員企業様より16名、㈱アマダ様より4名の計20名・5組でのスタートとなりました。

集合写真

今回のコースは、隣のホールと接し比較的狭いフェアウェイ、小高い丘越えやドッグレッグのブラインドもあり、飛ばし屋の方には少しストレスなコースレイアウト、わずかにせり上がって絶妙に距離感を狂わせるグリーン周り、そして難易度の高いパットを要求する位置にカップを切られたグリーンに、皆さん少し苦戦なさったようでした。

カートのナビにスコアを入力すると自分たちの組だけでなくコンペ参加者全員の順位もわかるようになっていたのですが、私たちの組は順位うんぬんから少し離れ（笑）　和気あいあいとラウンドする組だったので、各ホール毎にキャディさんからご指導（というかお説教!?）を受けながら楽しく回れました。

シックな皆さん

ゆかいな仲間（笑）

午後からの後半戦は春先と思えないほど気温も上がり汗ばむほどでしたが、楽しい一日を過ごすことが出来ました。ただし上位陣はコースに翻弄されたのか、前半と後半でかなり大きく変動する波乱もあったようでしたが…。

笑顔がすてき

高身長組。飛びそう

トップ争いは各1打差で80台が3人、それ以外の方は90台が4人で、半数以上の方が100切れなかったというところからも、今回のコースがいかに難しかったかということがよくわかります。

最終結果はダブルペリア方式でのハンデ計算で、ナサ工業㈱の長澤社長が優勝、㈱三松の田名部社長が準優勝で、今回のコンペは幕を閉じました。

ちなみに私は11位。グロスでは下からが早かったような。先輩方に勝負を挑んだものの、今回は全くいいところナシで全然歯が立ちませんでした…。

とはいえ、後半のキャディさん（男性）からは、『下手を打った後に無理をしない、大叩きしないゴルフなので、冷静にやればあと10打は簡単に縮みますよ！』と、なんとなく（？）励まされました（笑）。最近前より下手になっている気がしますが、次回は何とか先輩方に喰らいつけるよう、また練習しておこうと心に誓いました。

ベテランの先輩方とのラウンドももちろん楽しいのですが、これからもう少し若手の参加者が増えてくれると、さらに盛り上がるのではないか、特に、ゴルフを通じて多くの方と交流を図る中で、いろんな話（仕事に限らず）を出来るというのは、とてもいいことだと個人的には思っています。

シャフトがしなってます！

ということで、平成最後の九州シートメタル工業会ゴルフコンペのご報告でした。

〈宮本 健司　㈲ユー・アイ技研〉

第 22 回『定期総会』開催される

4 月 18 日、オリエンタルホテル福岡にて 44 社 59 名の会員出席により第 22 回定期総会が盛大に行われました。

まず、田名部会長の挨拶から始まり、平成 30 年度事業報告、収支決算報告がありました。

続いて役員改選について議案があり、新会長を含めて新任が 13 人と大幅な改選となりました。その後、平成 31 年度事業計画（案）、予算計画（案）が報告され、いずれも会員の皆様の承認をいただきました。

続いて、平成 30 年度板金技能検定合格者の発表と、第 31 回優秀板金製品技能フェアの表彰が行われ、閉会となりました。

第 2 部では九州経済産業局　地域経済部　部長　松下達也様による演題『九州経済のものづくり関連施策について』と称して記念講演会が行われました。九州経済の現状、事業継承への取組み、人材確保の取組み、ものづくり企業への支援策など大きく 4 つの項目に分けて講演いただきました。過去の主な支援策や実在の会社による取組みなど具体的な内容を交えながら、幅広い知識でわかりやすい説明でした。

第 3 部の懇親会では、新しく入会された会員の紹介や、講演会での話題、会員同士の活発な意見交換で盛り上がり、無事に閉演する事ができました。

定期総会の様子

講演する松下部長

懇親会での乾杯の様子

〈野口 武志　㈲真和ステンレス工業〉

板金技能検定合格おめでとうございます！

平成30年度の板金技能検定試験が平成31年2月3日に筆記試験と特級実技試験、1月12日と2月2日に1級と2級の実技試験が行われ、九州シートメタル工業会から14社47名が受験し、下記28名の方が合格されました。（合格率63.6%）

検定前講習や各受験者の努力が実を結び、難関を突破され、技能士の称号を手に入れられました。また、今年は工場板金特級に5名も合格されています。この内、ベルテクネ㈱の近藤恵様は当工業会初の女性の特級技能士となられました。

板金技能検定合格者

工　場　板　金			
作　業	級	氏　名	事業所
特級　工場板金	特級	大曲　　繁	㈱ヤスナガ
特級　工場板金	特級	大城　弘文	㈱田名部製作所
特級　工場板金	特級	近藤　　恵	ベルテクネ㈱
特級　工場板金	特級	小宮　祐敦	ナサ工業㈱
特級　工場板金	特級	安藤　政男	㈱三松
数値制御タレットパンチプレス	1級	佐藤　　誠	㈱アマダ
機械板金	1級	田野　　勉	㈱三松
機械板金	1級	山田　隆弘	㈱田名部製作所
機械板金	1級	渡邉　秀之	㈱三藤製作所
機械板金	1級	百田　忠則	ベルテクネ㈱
機械板金	1級	秋丸　辰郎	ベルテクネ㈱
機械板金	1級	池田　祐介	ベルテクネ㈱
機械板金	1級	宮原　克典	ベルテクネ㈱
数値制御タレットパンチプレス	2級	篠原　慶匡	㈱研工
数値制御タレットパンチプレス	2級	北川　和樹	㈱研工
数値制御タレットパンチプレス	2級	吉川由紀夫	北九州住設㈱
数値制御タレットパンチプレス	2級	松股　寛之	㈱三松
数値制御タレットパンチプレス	2級	林　　紘司	㈱まるわステンレス工業
数値制御タレットパンチプレス	2級	山口　昌敬	ベルテクネ㈱
数値制御タレットパンチプレス	2級	川元　涼平	㈱三松
数値制御タレットパンチプレス	2級	原口　大輝	㈱三松
数値制御タレットパンチプレス	2級	外村　卓巳	㈱ヤスナガ
機械板金	2級	森垣　優佑	㈱研工
機械板金	2級	鴛海　研志	㈱研工
機械板金	2級	岩村　　博	北九州住設㈱
機械板金	2級	甲斐　健太	ベルテクネ㈱
機械板金	2級	高木　滉平	㈱三松
機械板金	2級	原口　卓登	㈱三松

合格者コメント

工場板金　特級合格
ベルテクネ株式会社　近藤　恵

今回もあまり自信がなかったので、一番気を付けたのは、受験当日の記入間違いや記入漏れという些細なミスを減らすことでした。勉強の仕方としては、自分が間違って覚えていた項目を、ペンでノートに何度か書いて、口に出して読みながら覚えるようにしました。合格の理由は、暗記項目については何度も同じことを繰り返して覚えるようにして、不注意によるミスを減らせたことかと思います。

特級を受験するにあたって、先に合格した方々や、上司などからいろいろと気にかけていただきました。勉強の仕方など相談に乗ってもらえて心強かったです。今後はこの資格と勉強した内容を、仕事に活かして行きたいと思っています。

工場板金　機械板金作業１級合格
株式会社三藤製作所　渡邉　秀之

今回で３回目の挑戦でしたが、過去２回共、プレス作業の時間に余裕がなく、練習ではやった事のないミスをしてしまった経験を元に今回は、展開とシャーリングを如何に早く終わらせるか練習を行い、本番ではプレス作業に余裕を持てた事が合格の理由だったと思います。

普段はプレス作業は行ってないのですが、受験することでプレスの知識も少しは備わったと思います。また合格した事で今後合格を目指す後輩達に良いアドバイスが出来ればと考えております。

工場板金　数値制御タレットパンチプレス板金作業　１級合格
株式会社アマダ　佐藤　誠

普段のサービス業務の中で実際に展開図を作成する事はほとんど無い為、今回改めて勉強する良い機会となりました。受験にあたり、実技課題はテキストを繰り返し練習し、又、試験当日は寸法 入力ミスには細心の注意を払い問題に取り組みました。学科問題に関しては板金関係以外の出題も多く、覚える事がたくさんありましたが時間を見つけてはテキストに目を通すようにしていた事が合格につながったと思います。

今回の受験で学んだ幅広い知識を今後のサービス活動に生かすと共に、今後受験を検討しているサービスマンの指導にも努めていきたいと思います。

工場板金　機械板金作業２級合格

北九州住設株式会社　岩村　博

普段行っている作業内容に関する試験の為、難易度は低いのかと思っていましたが、忘れている事、自己流になっている事も多く、一から覚え直すつもりで勉強や練習をし、日頃の作業中も講習で教わった事を思い出しながら間違いを修正していた事が合格に繋がったと思います。

これからも定期的に自分の作業内容を見直し、技術や知識を高め、１級に挑戦したいと思います。

工場板金　数値制御タレットパンチプレス板金作業　２級合格

株式会社まるわステンレス工業　林　紘司

今回初めての受験にあたって受けさせて頂いた講習では、これまで曖昧だった知識や技術を詳しく知ることができ、とても有意義な内容でした。実技試験に向けては時間配分を常に意識して何度も練習を繰り返しました。そのおかげで試験当日は作業手順を再確認しながら、落ち着いて取り組むことができました。

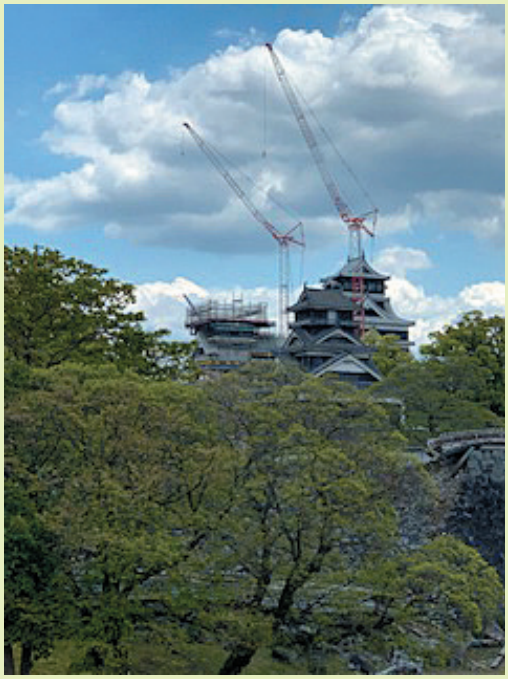
合格通知を受け取った時は嬉しさとともに身の引き締まる思いでした。今回学んだ事を業務や後輩への指導に生かしていくとともに、技能士として向上心を忘れず仕事に取り組んでいきます。

機械板金２級　実技試験の様子

数値制御タレットパンチプレス実技試験（展開）の様子

機械板金１級　実技試験の様子

数値制御タレットパンチプレス実技試験（加工）の様子



今回の表紙

復興途中の熊本城

今回の表紙は、私のたっての希望で復興途中の熊本城とさせていただきました。

熊本地震から丸三年が経過し、徐々に当時の記憶は薄れつつある方もいらっしゃるかもしれませんが、熊本県民はお城の現状を見る度に、『まだ完全に復興は終わっていない』と実感していると思います。

当初より『完全復元には30年かかる』と言われていましたが、見ていただくとわかるように、外観はずいぶんと補修が進んでいます。

ただし現在の天守閣は昭和30年代に作られた建造物なので、それ自体にはさほど歴史的価値があるわけでなく、むしろそれを支える、熊本城の象徴でもある『武者返し』の石垣こそが、築城当時からの姿を大部分残す物（明治期、西南戦争後に大規模補修された）であり、その復元こそが本当に大変な労力と技術を要する場所なのです。

過去の写真や映像から3Dデータを作成し、ドローンで撮影した現状と照らし合わせながら、崩落した石が元はどこにあったかを確定させるという最新の技術、日本中の歴史的建造物の補修を手掛け、その指揮に長けた現場管理者、　そして戦国時代から続く『穴太衆（あのうしゅう）』と呼ばれた石垣作りのプロの技術を現代に受け継ぎ、全国の城跡の石垣補修を請け負う職人さんたち…

そのような人たちが、今までよりもさらに『元の姿に近い精度と堅牢さ』を持った石垣を復旧させようとしてくれているということを知ってもらいながら、今一度『今の熊本城』を皆さんに見ていただきたいと思います。

〈宮本 健司　㈲ユー・アイ技研〉

九州シートメタル工業会　今後の予定

日　程	予　定
6月19日(水)	リーダー能力強化セミナー（1回目）
6月20日(木)	パワーアップ研修会（フォロー1回目）
6月26日(水)～27日（木）	板金図面検定前講習（2日間）
7月4日（木）～5日（金）	AP100中上級（宿泊・2日間）
7月9日（火）～10日（水）	問題解決（不良削減）（宿泊・2日間）
7月18日(木)～19日（金）	安全衛生職長教育（2日間）

日　程	予　定
8月20日(火)	パワーアップ研修会（フォロー2回目）
8月21日(水)	リーダー能力強化セミナー（2回目）
9月4日（水）	問題解決（不良削減）（フォロー1回目）
9月7日（土）	板金図面検定試験 ※1
9月11日(水)	プロジェクト管理技法の向上
9月19日(木)～20日（金）	タレパンセミナー（宿泊・2日間）

開催場所はいずれもアマダ九州営業所2Fセミナールーム。
※1　受験者数によっては開催場所が変更となる場合があります。
（昨年は春日市のクローバープラザにて開催）

編 集 後 記

今回、約4年ぶりに編集長を仰せつかりました。

私が編集長ということで、久々に皆さんに熊本にも来ていただきました。

そこでの今号の編集会議、盛り上がりましたが、危うく全部の記事を私が書くことになりそうになりました（笑）　今回は時事ネタがたくさんあったので、私が出したアイディアは次号以降に持ち越しとなりましたが。

実は編集会議をやるよりも前（日にちを見たら2月でした）に、表紙を『現在の熊本城』にしよう！と勝手に考え、表紙の説明文も書いていたのですが、内容があまりにマニアックかつ長すぎて、『それはマイブームで書くべき内容なのでは!?』とツッコまれる始末。

改めて自分を見つめ直した今回でした。今号は令和第一回目の発刊号。新しい時代は少し落ち着こうと思います。

〈宮本 健司　㈲ユー・アイ技研〉

「企業探訪」、「マイブーム」、「トピックス」、「職人のこだわり」は休載いたします。ご了承ください。

シートメタル 九州　第54号
（九州シートメタル工業会会報）

発行日　令和元年5月25日
発　行　九州シートメタル工業会
事務局　株式会社アマダ 九州営業所
〒816-0912　福岡県大野城市御笠川 1-9-4
TEL 092-580-8570

九州シートメタル工業会　ホームページ　http://www/kyushu-sma.gr.jp
ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。